

学校運営協議会

校名	府立豊島高等学校
校長名	羽根 隆

開催日時	平成31年01月18日(水)15:30～17:30
開催場所	府立豊島高等学校1階 校長室
出席者(委員)	芝田会長、大石委員、家島委員、湯川委員、安藤委員
出席者(学校)	羽根校長、吉田教頭、池尾教諭、櫻田事務長
傍聴者	なし
協議資料	平成30年度 学校経営計画 他
備考	

議題等(次第順)	
<ul style="list-style-type: none"> ・平成30年度学校評価について ・第2回授業アンケート結果について ・3年生進路状況 ・次年度学校経営計画 その他 	
協議内容・承認事項等(意見の概要)	
<p>○平成30年度学校教育計画及び学校評価について協議した。 委員からの主な意見は次の通り。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「学力の向上及び自己表現の育成と授業改善の取り組み」については、質問項目の語句の見直しによる数値向上と実感としての先生方の努力の結実であれば「◎」と記入すべきである。「コミュニケーション力・プレゼンテーション力」のところは、身につければ終わりではなく、さらに向上、または上達させていくものなので、生徒に対する説明をより丁寧に行えば、結果もまた変わるかも知れない。「身に付いた」ではなく「向上した」という表現のほうが良いのではないか。 ・遅刻については、データを基に原因分析し、その結果による対策を立てていただきたい。 ・勉強合宿は評判が良いので、今後も継続してください。 <p>○第2回授業アンケート及び学校教育自己診断について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・家庭学習を全くしない生徒は、何に時間を費やしているのか疑問である。 ・新聞に貧困層が増加とあり、アルバイトせざるを得ない状況もあるのでしょうか。 ・宿題が適当に出されていても家庭学習しないのは不思議である。宿題をしないのか、それを家庭学習に含んでいないのか、あるいは休み時間に効率よくやってしまうのか。 ・国語と理科の授業展開が「3」に達しないところが気になる。授業方法に原因があるのかについても分析を行えば、改善の余地があるかと思う。平均値だけではなく、標準偏差を使用して分析しても良い。また、授業展開と生徒意識についての相関分析を行えば、解釈の幅も広がると思う。 ・高2生の保護者だけ数値が低いのは、昨年度も同様であったのか、あるいは今年度だけだったのか、単年度だけでなく複数年度でデータ分析を行って解釈すべきと考える。 <p>○42期生(現3年生)の進路状況について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・3年生の健闘を祈ります。 <p>○次年度学校経営計画策定に向けての意見</p> <ul style="list-style-type: none"> ・遅刻指導について、生徒の意識に訴える方法は結果が出ていないので、その原因究明についてのデータ分析を行い、それを踏まえて対策を工夫していただきたい。 ・災害時の生徒の安否確認については、ライン以外の他のシステムも色々あるので、検討されてはどうか。 ・経営計画の各項目に関連する「啓発ポスター」を掲示するだけでも、生徒への情報発信になるので、評価項目への効果はあると思う。 ・教員が多忙でストレスフルな状況では、改善も難しい。生徒と向き合うためには、余裕が必要である。また、教員のための研修等の取り組みも引き続き検討していただきたい。 <p>※学校運営協議会実施要項第2条に従い、次年度学校経営計画を承認した。</p>	

次回の会議日程	
日時	
会場	府立豊島高等学校1階 校長室